

避難生活支援

リーダー／サポーター研修

「災害関連死・ゼロ」を目指して

参加
無料

定員50名

※定員に達し次第
受付終了

近年、災害の多発や避難生活の長期化による**災害関連死**の增加がますます懸念されています。

災害関連死を防ぐためには、地域社会の多様な人々が連携し、互いに支え合うことが不可欠です。

本研修では、災害時の避難生活の環境向上に貢献できる地域の人材**「避難生活支援リーダー／サポーター」**としてご活躍いただくことを目指し、演習・グループワークを中心に、**避難生活の環境改善のための実践的な知識・ノウハウ**を学びます。



研修（避難所運営演習）

日 時

1日目：令和8年2月7日（土）10:00～16:00

2日目：令和8年2月8日（日）10:00～16:00

会 場

ゆめトピア長船 夢いっぱいホール

〒701-4264 岡山県瀬戸内市長船町土師277-4

※駐車場あり

持ち物

研修テキスト、昼食、飲み物、筆記用具、動きやすい服装

実践に
役立つ

どなたでも
参加可能

プログラム

1 日 目

- ・多様な被災者の心情や状況の理解
- ・避難生活の課題と生活環境の整備

2 日 目

- ・対人コミュニケーション
- ・避難所運営の担い手との連携・協働



▲研修の詳細内容
については、研修
紹介動画を御覧く
ださい



この研修は、内閣府「避難生活支援・防災人材育成工システム」の構築に向けたモデル研修として実施するものです。

詳細は裏面へ

研修当日までに事前学習が必要です

研修テキスト

避難生活支援に必要な基礎知識や、過去の災害における課題と対応事例などをまとめたテキストをお送りします。事前にご一読ください。

オンデマンド動画

研修テキストの中でも、特に重要なポイントを解説した動画を、研修前にご視聴いただきます。(約2時間)

お申し込み後、研修テキストとオンデマンド動画の情報を送ります。

研修講師



辛嶋 友香里 氏

ピースボート災害支援センター
国内災害事業
現地コーディネーター

2011年、東日本大震災をきっかけにPBVの初期運営メンバーとして支援に携わり職員となる。被災地に向かう数万人のボランティアをオーガナイズ。現在は、全国各地で講演や研修講師としても活動中。災害ボランティアや避難所運営の人材育成など各種「防災・減災」プログラムの開発、企画、制作、運営などを総合的に実施している。その他マニュアルの作成アドバイス、執筆なども行っている。また、国内災害の緊急支援も担当。毎年常駐型で、被災地の現地コーディネーターとして災害対応にあたっている。



合田 茂広 氏

ピースボート災害支援センター
理事

学生時代のボランティア活動をきっかけにNGOに就職、途上国や紛争地への国際協力等を担当した。東日本大震災後は理事としてピースボート災害支援センターの設立に関わり、東北やフィリピン台風、西日本豪雨、北海道胆振東部地震などの被災地でコーディネーターとして活動。全国各地で防災・減災に関する講演、能登半島地震の状況も踏まえた避難所の運営者研修にも積極的に取り組んでいる。



伊藤 リカ 氏

災害支援ふくおか広域ネットワーク 事務局/
螢火 理事

2017年、九州北部豪雨災害をきっかけに被災地支援活動を開始。同年、任意団体「螢火」を結成し、家屋や農地の復旧、仮設住宅支援に奔走。2021年に法人化し、活動の幅を広げながら、災害ボランティア講座や子ども向け防災教育を実施。2024年より「災害支援ふくおか広域ネットワーク」事務局に所属し、県域の災害支援体制強化に向けた中間支援組織活動にも取り組んでいる。

お申込方法・窓口 申込締切：令和8年1月16日(金)

- お申込みに関するお問い合わせは、瀬戸内市総務部危機管理課にご連絡ください。
- お申し込みは、右側のQRコードから受付いたします。
※QRコードからの申し込みができない場合は、下記のお電話またはメールにてご連絡ください。
- 定員の50名に達した場合、受付を締め切らせていただきます。



※QRコードは株デンソーウエーブの登録商標です

瀬戸内市 総務部 危機管理課 担当：石田、園田
〒701-4292 岡山県瀬戸内市邑久町尾張300番地1
電 話：0869-22-3904
メール：kikikanri@city.setouchi.lg.jp



研修に関する
お問い合わせ先

内閣府業務受託事業者 避難生活支援リーダー／サポーター研修事務局

株式会社ダイナックス都市環境研究所（担当：大宮、橋本）

TEL : 03-5402-5355 MAIL: leader-supporter@dynax-eco.com